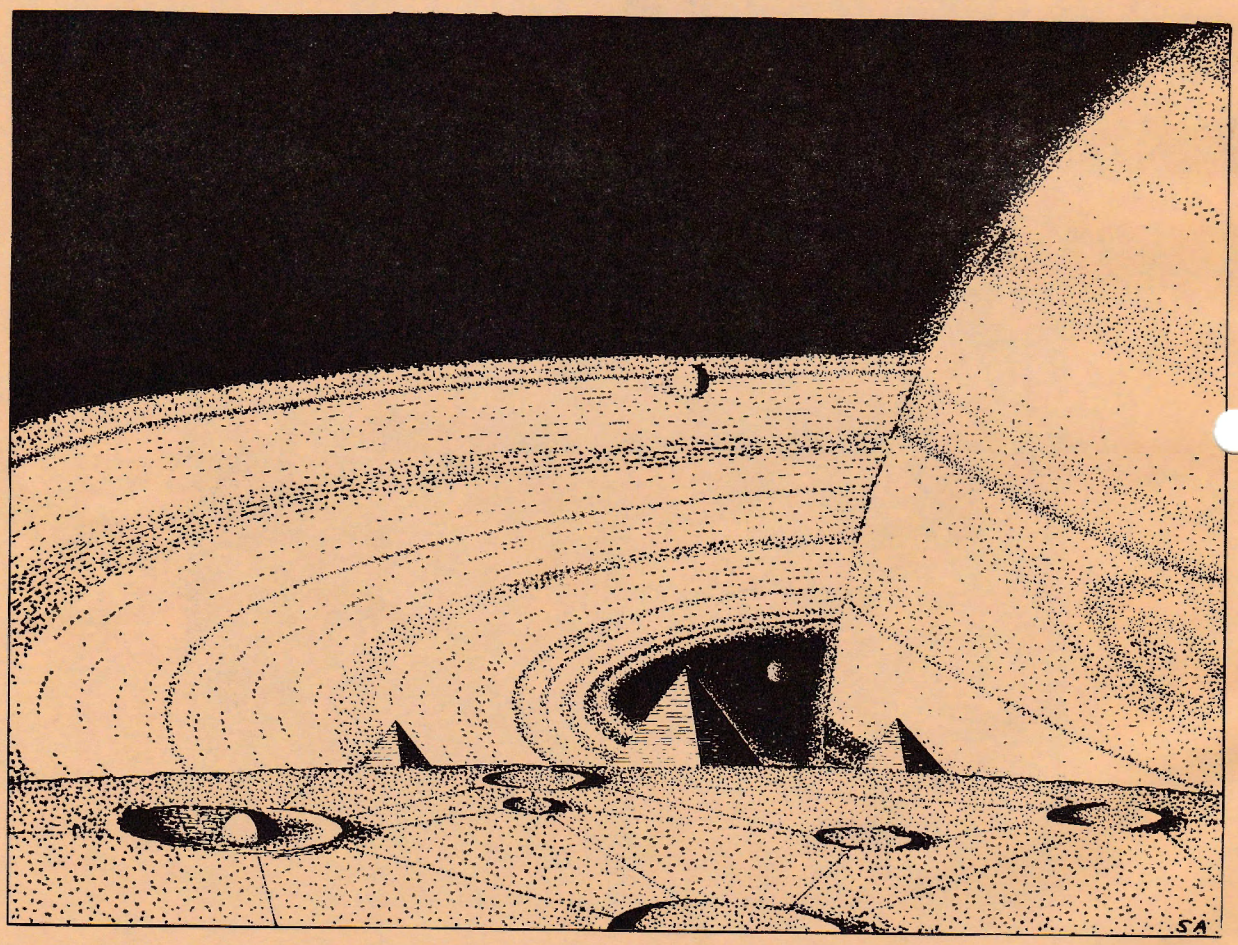
日本GAP山形支部報

ユニバーサルメッセージ

No.14



日本GAP山形支部機関誌

ユニバーサルメッセージ14

決断　清水正…1
絶景！仙山線
　山形月例会参加の日　安藤澄雄…2~3
旅行を前にして
　久保田会長にインタビュー　…4~8
特別な日　大橋博子…8
おたより詔介　…9~12
おしらせ　編集後記　…13

表紙絵：安藤澄雄氏

決断

清水正

今年の夏も各地の代表校があこがれの甲子園で熱戦を繰広げていますが、私はひまがあれば各々の試合を見るようにしています。特に東北チームが出場するときなどは地元ということもあって応援していますが、今年はどういう訳か、全部、初戦で姿を消すことになってしまいました。勝ちねばりが身上の東北勢が簡単に去ってゆくのは残念なのですが、全国の高校生のさわやかな熱のこもった試合はどんなチームであれひきつけられるものがあります。

今回初に行なわれた山口代表宇部商対岩手代表高岡商の試合は、双方のピッチャーが今大会では一、二を争う好投手で試合展開も投手戦の様相を呈してきました。初回に宇部商が一点先行したまま九回裏高岡商の攻撃になりました。

高岡商は三つのヒットなどで計三点を入れ逆転しました。ここで三対一になりました。ところがその裏、宇部商も反撃しました。先頭打者、三塁打、次打者が四球、そして盗塁、ノーアウト二、三塁となって次の打者にその責任がかかってきました。この時、誰もが予想もしなかったスクイズバントが、それがなんとフライになり失敗、三塁走者もさされてニアウト一瞬にしてチャンスが消え去りました。

この時、私は大声で「これは監督の大失策だなあ」と言っていました。ところがNHK解説者、福島敦彦氏は次のように言いました。「これはりっぱな決断でしたね。なかなかこの場面ではできない決断です。よほど投手を信頼していないとできないことで、私はりっぱな決断だったと思いますし、私はこれを聞いて、ハッとしました。私は結果で、ものごとを判断していたんだなあと思ったのです。もしバントが成功すれば、素晴らしいと言っているでしょう。

想念の非宇宙的想念に「結果だけ見て原因を見ない」というのがありますが、以外とこうした判断は身近によくしていることだなあと思った訳です。失敗したから必ず原因はダメというより、その目的が大切に思います。結果で振回わされ人への思いやりに欠けたり、失敗を恐れ自由な表現が制限されてしまうことがないでしょうか。とにかく高校野球を見ていますと、胸がとさめいてきます。純粋さ、まじめにとりくむ姿勢がとても好きです。私も高校の三年間を野球にうちこんできました。彼ら高校球児の気持ちがわかるような気がします。

絶景！仙山線

山形月例会参加の日

安藤 澄雄

I：きょう、山形へ来るために国鉄仙山線を利用してきましたが、僕はこの仙山線の車窓の景色が大好きです。おととし(1980年)は、それこそ毎月のように山形へ足(長い足)を運んでいましたが春・夏・秋・冬、どの季節を通って来ても、山頂付近の雑木林や深い谷・白い細い滝、川——あらゆる自然が生命力にあふれていました。きょうの車窓は、夏に近づき始めた春が幅広い波長の緑を見せてくれました。一般に「緑」というとクレヨンのような緑が、山口緑氏ぐらいしか連想しないでしょうが、例えば一枚の葉っぱの中でさえも無限と言ってよいほどの色彩があることは、ちょっと観察してみればすぐにわかります。それが一本の木に何百枚という葉があり、しかもひとつの山には何千本という木があるのですから「緑」とひと口に言っても、星の数ほどあるわけです。同じ色は決してありません「緑」の話が長くなりましたが、とにかく、あの景色は素晴らしいものです。「緑」が何色あろうが、とにかくいいもんです。一度、仙山線に乗ってみて下さい。(清水さんPR料をください！)

その仙山線でもう一つ楽しかったのは、向かいの席に座ったおじさんのしぐさです。最初、サングラスをかけて乗り込んできたのですが、列車が仙台市内を出て、田畑の多い景色の中を走り始めると、いつのまにかサングラスを外していて窓の外をながめていました。そんなことはだれでもよくやることでしょうが、そのうち、例の〃素晴らしい山の中〃にさしかかると、片側だけの風景を見ていては、もったいないと判断したのか、右を見て、左を見て、また右を見て、左を見て……まるで横断歩道を渡ろうとしている子供みたいにとても忙しく左右をキョロキョロ見続けていました。それをほぼ一時間近くもやっていたのですから、さぞ首が疲れたことだろうと気のどくに思います。でも、それほどにあの景色は美しかったのであり〃サングラス

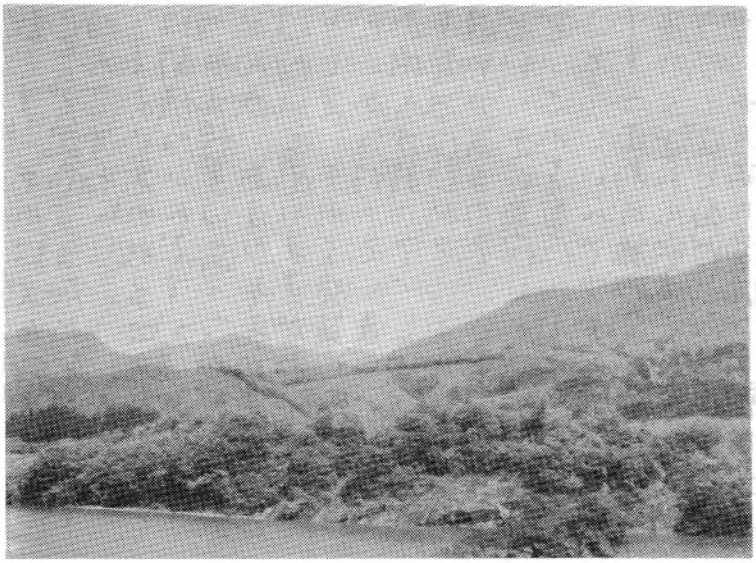
のおじさん〃の心は美しかったのです。

でも、ひとつ気がかりなのは、あんなにキョロキョロしていて、はたしてあのおじさんは、きょうの空の青さと、木々を支えていた土の香りにまで気がついただろうか、ということです。

それはともかく、こんな春のあたたかい日は、ほんとうにいいもんだなあと思います。

Ⅱ：実はこの会場に来るときに、バスに乗り違えてしまったのです。でもそのおかげでとてもいい光景に合いました。美人に会ったのです——と言っても女性ではなく、心の美しい人でした。その人というのはバスの運転手さんで、アナウンスの口調がとてもいい感じなのです。(山形は田舎なのでしょうか、次の停留所の案内はテープではありませんでした)「次は○○です。お降りの方はいらっしゃいませんか？」「はい、お待たせいたしました。どうもありがとうございました」そして、乗り間違えたことを話したときもていねいにどうしたらよいか相談にのってくれ、僕としてもとても素晴らしいドライブだったと思いながら降りたのでした。

この運転手さんは、別に僕がGAP会員だからていねいにしてくれたのでもなく、僕が頭の悪そうな顔をしていたからでもなく、いつもああいう態度なのだと思います。



僕たちは月例会ごとに素晴らしい調和の時間を持ちますが、それだけでなく、毎日を月例会のようにしてだれにたいしてもGAP会員に接するように尊敬を込めて接し、宇宙哲学を本当に自分のものにしたいものです。

旅行を前にして

久保田会長にインタビュー

これは8/5・GAP企画、エジプト・ヨーロッパ宇宙考古学の旅の出発を目前にして、久保田会長の自宅から、遠藤昭則氏、松村氏、編者四名が遠藤号の車で成田へ向かう車の中で交わされた質疑、意見であります。

―こんどの旅のハイライトはエジプトですが。

「エジプトですね。なんといってもし

―エジプトに関して宇宙的な話題がありましたら、お聞かせください。

「それはなんといっても例の三大ピラミッドですね。これが最大の目標でして、普通の考古学では王の墓とされていますが、実際はそうではなく、もっとはるかに大昔、ムー大陸かあるいはアトランティス大陸が沈んだ時の記念碑として建てられたものだろうと言う考えかたを持っています。その意味では大きな意義がありますし

―もうエジプトの時代にはピラミッドがあった訳ですね。

「古代エジプト人は、はるかな大昔にいたのですが、それらがそのピラミッドを作った技術をもっていた訳ではなくて、もっと別なすぐれた民族がやってきて、あそこでエジプト人を労働者として使い、あるすごい技術をもってあのピラミッドを作った訳です。それは沈んだ大陸をあくまで記念するためということなんですね。

―よく言われるエネルギーとは関係ないんですか。

「ある程度はあったかもしれませんが、あまりそれが主目標ではないと思いますがね。

―そして、それを建築した民族はどこかへ行ってしまい、あとは原始人が残って、しだいに王国を築きはじめて、そのうち王が建物があるので、これはちょうどいい王の墓にしようという訳で、これを墓に利用したというようなことらしいんですがね。

―三年前の旅行でしたか、米のシアトル空港でスペースブラザーズと会われたと思いますが、その時の模様をお聞かせください。

「私たちが二手にわかれて行ったのですが、私は後のグループを引率していった訳ですがね。シアトル空港へついて、こんどは飛行機を乗り替えることになったんですが、なかなか私たちの30名のグループは税関を早く

っらに係ま英機とこう私たの所私としすらのにそもでの行非出
てい人員だ語はばでにが訳をへがにま。、三かれうはで機常る
いしっは飛で出か私立来なじ行ゲなっこも番くで絶間'のにこ
なたて用行聞てりはっるんっく|ったれうゲまも望にこ時遅と
さらい事機いしだ'てのでとのトたとは係|っと的合れ間れが
い来るがはたまとそいとす二とのといも員ト先思にわはばた出
ら るかあ出訳っ思のた知。人遠前思ううはにになな、も訳来
とからってでたっ人訳っそのくのっのき全行、てっいとうでな
切ら、ていすのてがなての男かカてでれ然っシ'た'て切すか
親'あ飛ながで「おんい前がらウい'いいてア私訳早も迎。っ
にこと行い、すも客でたに待私ンまえになみトはでくこしそた
数こ15機 「かうさすか立っがタしら遅いまルます言のてれで
えで分の今しら飛ん。のって来|たいれ訳し空あ。え調いです
て待ぐ中'やと行だそよているのらこてでた港と ば子る飛ね。

をとた行盗え客そ乗34でん伝にのとれしがかシるしうそそ助く
忘思が機がなされ募名、でわ、所思まいねのアかて飛ののかれ
れっ'に見くんでを分そすっそでっしニ。手ト 、'行人時った
てて乗えなら'作をの。ての待てた人そとルあそ機がにた訳
し'にるなっし私っわ係で係飛っ'ののう打でるしはいもとで
ま私かのくていにてた員'員行てしで男しと一いて出なう思す
っは乗かなし人数いしにこが機いば'のたう泊は'たか引い。
てもらとっまはえたてすれ帰のまらこーらとす乗別とっ返まそ
'うな思てっ'てだ'べこっ中しくれ人、思るれな思たえしれ
そ'いっ'たどくいそてれてかたカはがおっかな飛っなしてで
しそのて一んこれたしのと来ららウ助教客たしか行てらてね、
てのかい諸でかた訳て港いた虫'ンかえさのてっ機引ば'、こ
'こなまにすに'で'空う訳腹本タってんで'た返'も私れ
みとあし飛ね。見おす。搭券訳なを当|たくらす何ら乗えもうはは

とそそ私みをわよかかこ来なるたで|ししてはんねい高の訳ん
がののにゆ見っり'なのっにのちすズてばし忘で。ため高でな
、時人話きてて三たい人て世での。で'らまれ'そ人でいすと
わにだしさい'引の。のい大は飛もはあくいてもうなし人。一
か'とてんたし目でと頼まきな行しなのしましうしんたでそ諸
っ一いくがときなすことすない機そか人てしまそてでか'れに
た諸うれ日いりなが3見か飛かにうっはかたっの'す'私で飛
のにこて本うにめ'がてら行と一だたスらがたこ飛。茶よ、行
で乗と'にこ私後そ'歩'機思諸とかぺ、'訳と行白色りそ機
すってそ帰とのろのあくいでいにすと|ま乗では機人のはのに
。て'のっを六の人と訳ちたよ乗れ思入たりす全に夕服ち人乗
そい和人て ば方はかにいくしっばっブ思込。然乗イをよはり
のためだか合かに'らはちさたて'たういん忘'リプ着っ'込
人こて'ら田り座私わゆ'んがい私訳ザ出でれ私込でてと背だ
が

飛行機に乗ってきて、それから柴田文子さんが、合田さんと一緒に、座席に座わろうとしたときに、その背の高い茶色の服を着た人のそばにきたので、あの人、敏感ですからね、すぐ直観的に、この人はスペースブラザーズではないかなと思って、テレパシーで聞いてみたら、相手がにっこり微笑してうなずいたというんです。それも、私、だいぶあとになってから知ったんですがね、その背の高さや、顔つきやら、服の色など聞いて私を最初カウンターの所で、ちゃんと案内してくれた人と同じ人だということがわかったのです。だから、これは、金星人にちがいないと思います。三人の話しがぴったり合う訳なんです」

――カウンターにいた二人のうちの一人ですね。

「だから、おそらく二人ずれで一緒に乗ったんだろうと思うのですがね」

――その二人目もスペースブラヴィスだと思いますか。

「そう思いますね。私が行ったとき、他には全然、誰もいなかったですからね、あのカウンターに、だからなぜ飛行機が出てしまったと思われるのに、二人ここに立っているのだろうかと思って、最初、私は、それがちょっと奇妙だと感じましたがね

――こんどの旅行でも・ブラザーズが、そばに来てくれるというのはありえますか。

「考えられますね。充分」

――昨年はUFOが二度ばかり出現しながら写真に撮れませんでしたが、それはどうゆうことなのでしょうか。

「それはわからないですね。考えられる理由としては、GAPだけが写真を撮る。そこで、GAPは円盤でもないものをなんでも円盤だ円盤だと言って、写真を撮っては、これが円盤だといって発表したがる。そうゆうようなことで批判してくる人があるかもしれないです。GAPに反対する人ですね。そうゆうふうなことにならせないようにというので、写真を撮ることを円盤側がちゃんと、まあ、拒否しているのかもしれないですね。良い意味で―。だから、おそらく彼らは、飛行機の窓から何人がのぞいて、カメラをこうかまえていることが、向こうはすぐ一mぐらい前に見えるように、見えていると思いますがね。その時、なんらかの操作をして、円盤を見えなくすることが当然できると思います」

※ここで運転手の遠藤昭則さんが話されました。

遠藤「イタリアの時、ナポリかどこかで、UFOでましてね。あの時写真、撮ったんですけどね、そうしたら次の日かな、空港行った時ですね、カメラ、落しちゃったんですよ。そうしたらね、中のフイルムがブアーと出てきましてね、そいでダメになっちゃたことあるんですよ。落としたぐらいじゃ、ふた・あかないはずなんですけどね」

――考えてみますと、GAPの知らせろ運動は結局、誰もかれも知らせるという運動ではないような気がしますね。

「そうです。イエスが言うように『ブタに真珠を投げ与える』

出発を前に記念撮影（成田空港・南ウイング）

と言っているようにですね。もう、わからない者や、反対する者に知らせようとしても意味がないですからね。かえってトラブルが起こるばかりですからね。わかってくれる人にしか知らせることはできないですね」

——GAP旅行に関する宇宙的な意義はなんでしょうか。

「それはなんといっても、旅行こそが、本当に人間の目を開かせ、大きな宇宙的な知識を与えるということで別の惑星の異星人たちも巨大な母船に乗って、しょっちゅう、あちこち旅行している訳です。別な惑星へいったり、別の太陽系へいったり——それで、それになぞらえて、別な惑星までには行けないけれども、地球上の各国を歩き回わって、多いに目を開かせようという訳で、やっているわけです。これは、もう地球内の旅行ですが、国際感覚というものが開け、それによって、さらに宇宙的な思想を持つ手がかりにもなるであろうということなのです

——GAPの旅行には素晴らしい調和がありますね。なにかブラグーズの祝福の想念がいつも感じられますが、やはり祝福の想念は、私たちに向けられていますか。

「それは、もう当然、私たちには、しょっちゅう向けられているとは思いますがね。旅行に行っても行かなくてもです」

——こちらがブラグーズを思えば、それに答えてくれるんですね。

「そうです。それは、もうまちがいないと思います。昨日も旭

川支部の石川公一君から電話がかかってきて、この間の仙川支部月例会をやって、それがすんだあとで、仙台の石田君も来たそうですね。円盤が出たそうですね。しかも、静岡の時よりもハッキリ大きく見えたと言うんですね」

「どうゆうのですか。銀色ですか。何かね。銀色ぐらいの、まんまるい円盤が出て来たのが、ハッキリわかったという大変素晴らしいことを言って、わざわざ、えらい興奮したような声で電話をかけてきましたから、相当まあ素晴らしい光景だったそう思いますね。あゆうふうにGAPというものを注目しておられるという、上空からーこれは、もうまちがいないと思いますね」

特別な日

大橋博子

ニューズレター・月例会のテープ・支部報が送られてきたとき、支部例会、支部大会に出席したり GAPメンバーと再会したときetc……GAP関係のある日は私にとって、とても気分の高揚する素晴しい特別な日になります。

でも、つまらないなあとか、退屈だなあと感じる日や平凡などってこともない。なんでもないような日も、とても大切な特別な日なのじゃないかしらと思います。何故そのように感じるのか考えてみました。

毎日毎日同じことのくり返しで、何も変ったこともないと思い込んでいたことに気がつきました。そして心が大変満たされているのです。似たような日はあっても、決して同じ日や、同じ一瞬というものはないはずです。一瞬一瞬が特別に思えてきて、とても大切にその日を過したくなってきました。

個人的なつまらない不満や愚痴などに振り回されるのは、時間の浪費と考えると何ごとも気にならなくなってきました。

そして友との会話の中から、素晴しいことを教えられたりすると、嬉しい気分になってきます。

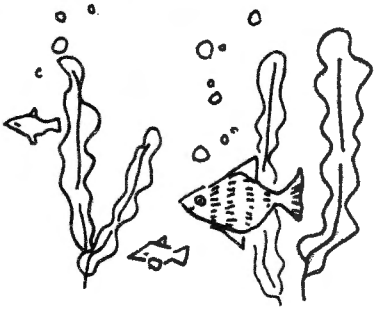
朝起きたら今日も特別な日、きっと素晴しいことや嬉しいことや楽しいことが一つはあるはずです。

ほんとうは、一つどころかたくさんあるのでしょうが、今の私にはたくさんはみつけられません。

そして、一つみつけた素晴しいことを、その日思い浮べると気分が高揚してきます。やっぱり今日も素晴しい一日だった。明日はどんな素晴しいことがみつけられるのでしょうか。

ほんとうに毎日が愛しいものになってきます。

おたより紹介



松山支部　伊藤達夫

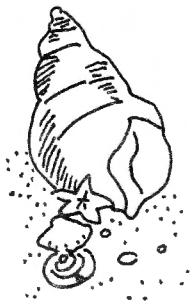
清水さん、その後お元気でお過ごしですか。四国地方はこのところ降り続いたドシャブリの雨もようやくあがって、再び暑い夏の日差しが降りそそいでいます。野球王国の愛媛でも高校野球の県予戦がたけなわで、白熱の好試合が続いています。応援団の歓声と球音がこだまする松山球場のすぐ隣にある市民会館で開かれた7月月例会には、ワ名の会員の方が出席して下さいました。その方の中に、書店で「宇宙哲学とは？」を読んで関心を起こした一人の男性の方が来ておられました。非会員でしたから一応オブザーバーのかたちで座っていただきました。その方はこれまで宗教関係に深い関心を持っていたらしく、その方面の理解度は相当なものがあり、思わずこちらがタジタジとなるほどでした。そして日本GAPと宗教とはどこが違っているかという点について鋭い質問が出されました。私も久し振りに他流試合をした様なファイーリングを味わいました。宗教方面については、しよせんは地球のワクの中でしか物事を解釈できない宗教の感覚で日本GAPや宇宙哲学を理解しようとしても、無理があることが、彼の考え方にも表われているように思えました。大局的外との関連を重視する日本GAPの立場は、少々哲学や宗教を学んだ程度では、とうていその本質を理解することは難かしく、何らかのカルミックなつながりを無視できないことを痛感した次第です。しかし、この対話を通して、私が感じたことは、この様な部外者で、ある程度博学な人がやって来ても、十分その質問に受け答えが出来る程度の力をつけておかねばならないということでした。一つの分野の知識を深く身につける必要はありませんが、広い教養を持つことは、これからのGAP会員にとっては必須条件のように思われます。一般の人々が宇宙空間の真実を知りたいという動きが高まれば、GAPに入会する人もふえるでしょうし、支部月例会にも、色々な人がやってくるようになるかもしれません。その中には、高名な学者もいるかもしれませんし、社会的に地位の高い人や高度の教養と識見を持った人も混じっているかもしれません。その様な人を温かく迎え入れるだけの受け入れ体制を今からつくっておく必要があります。その為には、私達一人一人の会員が宇宙哲学

を一層よく理解して、生活の中での実践を通して人々を指導出来るぐらいの水準に達することが求められています。初めて月例会を訪れた人達が、最も重視するのは、内容もさることながら、その場の雰囲気が大きな役割りをはたしますから、雰囲気を良くする為には、ある程度の教養とマナーを身につける必要があるのではないでしょうか。よく教養と学歴とを混同する人がいるようですが、これは完全な誤りです。一流大学を出た人でも教養のない人はゴロゴロしています。

社会の各方面で起こっている様々な出来事に対して市民一人一人が関心を持つと共に、その大まかな概要を理解することが、広い意味における教養ですから、これはその気があれば誰れでも身につけることが出来ます。NHKテレビの夜7時半台からの番組みには、視野を広げるにはもってこいの優れた内容のものがたくさんあります。10時30分からのニュース解説を見る価値のあるものですし、教育テレビにはもっと大学で学ぶよりもはるかに充実した内容の教養と知識を吸収できる番組が組まれています。

GAP会員であるとないとにかかわらず、この目まぐるしく変化しつつある激動の社会にあっては、その流れに遅れないよう絶えず新しい知識を吸収してゆくことが大切だと思いました。アダムスキー氏もかつて「時代の進歩に遅れをとってはならない」と言っておられます。一般の人々と交わっても対等に話をすることが出来、どんな場所へ出ても気遅れすることのない人間になることが、私たちに求められているように思えるのです。

敏感さを養うのと並行して、人格をみがいて品性と常識を身につけるように努力してゆくならば、その人はいづれ巨大な人間として成長することでしょう。そして他の人々につ宇宙空間の真実一を伝える時に、その大きな人格の力は、多大な影響力をおよぼすことになるばかりでなく、宇宙に対してもはかり知れない貢献を果たすようになるでしょう。来たるべき時に備えて、今はひたすら宇宙哲学の研讃とスペースプログラムへの協力にまい進すべき時だということを感じます。静岡での市内観光で、多数の円盤が出現するのをこの目で目撃して、如実にGAPが正念場に立っている現実を確かめることができました。この現実に直面して、私も一会員としての一層の努力を重ねてゆく決意を新たにしました。そして久保田会長と共に歩み、正道をはずれず、多くの同志と一致協力し、助け助けられながら、スペースプログラムの遂行の為にやり抜いてゆくつもりです。清水さん志を同じくする同志としてこれからもよろしくお願い致します。又いつかお目にかかりましょう。お元気で、さようなら。



松山市　中川敏恵

支部報をどうもありがとうございました。こんな素晴らしいものを送っていただいてほんとうに感謝しています。またその内容も宇宙的フィーリングに満ち溢れていて、何度も読み返しています。東北の方々の厳しい自然環境とは対照的にその暖かい人間性が感じられ、温室的気候育ちの私にとっては大いに学ぶべき点があるように思えました。

GAPに入会させていただいて5年になりますが、当初は各地の会員の方々といろんな面で交流ができるなんてこと考えてなかったものですから、今その喜びをかみしめています。

ところで、旭川・札幌支部大会に参加されたそうで、いいですね。片道20時間というのには驚きましたが、久保田先生のご講演とても素晴らしかったそうですね。お手紙に書かれていた内容を読んでその感じがひしひしと伝わりとても楽しく明るい気持ちになりました。私も実践してみようと思います。

そう言えば静岡・名古屋支部大会に伊藤さんが出席されたそうです。聞くところによると、市内観光にて円盤が再三にわたり出現し、皆さん驚かれていたということですが、これはGAP活動が大詰めを迎えているという事と関係しているのでしょうか。6月の松山支部月例会で伊藤さんがその事について話されていたので少し気になっていたんです。ブラザーズもその大詰めになったと言われる私たちを励まして下さってるのでしょうか。最近特にそういったフィーリングが強く感じられます。でもこの先何が起ころうとも恐怖しないで、しっかりとした善きイメージを描きながら頑張っていきたいと思います。

イメージと言えば、伊藤さんが送って下さった静岡の支部報に高梨知明さんという方が、ミラクルイメージなどについていろいろ書かれていましたが、これも私にとってひとつの良きヒントとなりました。自己の大脳新皮質に今すぐ新鮮で宇宙的ないいイメージを叩きこむつもりで強く描かないとだめみたいですね。その練習として念写実験などもやっていますが、まだまだ描く力が弱いみたいでそれらしい結果がでません。でもアダムスキー氏もおっしゃってたように一回や二回の失敗でくじけていてもいけませんね。より一層の努力を続けたいと思います。

福知山市　仲間秀樹

拝復、梅明けもま近の様子で連日暑い毎日ですが、お元気ですか。

過日は、お手紙有り難とうございました。毎日毎日超多忙で気づくと今日ペンを取ったのが、一週間後になろうとは思っていませんでした。

静岡での東海地区大会では、

あい変わらず、親しくお話しができ、とてもよろこんでいます。今回の大会は、とてもすばらしく、又GAPの活動に対する各人の認識という点において、重大な意味を持つものであったと思いました。

さて、次は、青森大会ですね。東北地方では、今年初めての大会ですし、又青森県地方という所では、初めてですので、大いなる期待を持たれているのではないかと思います。きっとすばらしく意義のある大会となることでしょう。僕は、とても東北の方々には心ひかれるものがあり親しく思います。特にねばり強く、純朴な感じ、そしてユーモアに富んだセンスは、関西人とは違ったものを持たれています。一般的に"こうだ！"とは決められませんが、それよりもGAP活動に熱心な方々は、一種共通の素地みたいなものがあるようですので、それが、ひかれる原因なのかも知れません。

さて、話は元にもどりますが、静岡の翌日は、まったくすばらしいものでした。私は、登呂の遺跡で一回、日本平のロープウェイの中から一回、スペースシップを目撃することができました。その後はかの人の話では、バスが清水市内から静岡の駅に帰る途中、ずっと二機の円盤がついて来たそうで、このことから、確実に我々のことを知って注目していたのでしょう。きっと、このようなことは、今後増えてくる傾向になってゆくと思います。

さて、こちらの大阪での大会の準備も少しづつ進んでいます。今度の日曜日（三十日）に、平塚氏斉藤さんと私と三人で、会場の下見やら、諸手配に、滋賀県のびわ湖畔の会場まで出かける予定です。こちらの方、よければ参加して頂ければ、すばらしいと思っています。

それではこのへんで失礼します。とにかくこれからもがんばりましょう。毎日、健康で平安な日々を送られます様、お祈り致します。ご家族の方々にもよろしく。

1981年6月7日 勝又英嗣.

予告 仙台・山形合同支部大会

第3回仙台、山形合同支部大会。今回は久保田会長を囲んで、話し合いに徹する会にする予定です。どんな話しが出るか御期待下さい。

■日時　11月14日　PM1:00→5:00
■会場　「東京オーホテル仙台」
仙台市中央2丁目3-18　TEL(0222)62-1355
■会費　¥2000
■プログラム
1:00　支部代表挨拶（笠原、清水）
1:10　講演 久保田八郎
「アダムスキーは不滅なり」
2:10　休憩・記念撮影
2:30　全員自己紹介・質疑応答
5:00　閉会
■夕食会「東京オーホテル仙台」
会費 ¥4000
■宿舎「東京オーホテル仙台」シングル¥4500 ツイン¥8800
■連絡先 〒982 仙台市東十番丁1 国鉄アパート1-18
笠原、羽可　TEL(0222)95-0725

山形支部月例会

●毎月1日曜日　PM1:00～5:00
※10月はGAP東京本部総会の為月例会休止
●山形市福祉文化センター
●会費 200円
●プログラム ①東京例会における久保田会長「生命の科学」講義録音テープ公開 ②テレパシー練習 ③意見発表・座談会
●持参品
生命の科学
テレパシー練習問題

編集後記

●おまたせいたしました。しばらくご無沙汰しておりました。さて、各地の支部大会も活発で、10月には総会、11月は仙台・山形合同支部大会、熊本支部大会と続いてゆきます。

●安藤澄雄さんが感動しております。仙山線は私も仙台へ行く機会ごとに利用しますが、本当に四季をつうじて美しい場所が多く、途中には有名な「山寺」もあり一度は乗ってみる価値があります。それから、山形の県境線は大変美しい景色の所が多く、奥羽線、福島－米沢間、米坂線、小国村近は、大自然のすばらしい景観を楽しむことができます。ぜひ、「紅花の山形」へおこしの際は国鉄を御利用下さい。

●GAP旅行は第4回を数えておりますが、会員相互間の家的なつながりや信念をそだてる意味でも、毎回、多数の収穫をあげてきました。今回はどんな旅行だったのでしょうか。帰国が待ち遠しく思います。

●最近、GAP大会や、個人的にも円盤と遭遇する機会がふえてきました。私たちにとってもこころ強く思われる現象ですが、そのことから、プラザーズの意図も察しがつくように思います。私たちはけっしてゴウマンとなるレッスンをこの世界で受けているのでしょうから、地道ながらもアムがうちたてた金字塔を実践によって盛り立ててまいりましょう。

●投稿・イラストなどお送りいただければうれしく思います。どしどしお寄せ下さい。お待ちしてます。

日本GAP山形支部機関誌
ユニバーサルメッセージ14
編集発行人　清水　正
発行所　日本GAP山形支部
992 山形県米沢市松が岬2-4-31
でんわ0238-21-5441
1982 8/25
頒価100円 送料120円